

介護ロボット活用 ミーティング



本音で語ろう！

介護現場で働くみんなの情報交換会

開催時間
13:00~16:00



仙台会場 令和2年10月23日(金) 仙台国際センター〔コミュニケーション〕

大阪会場 令和2年10月30日(金) エル・おおさか(大阪府立労働センター)〔入浴支援〕

名古屋会場 令和2年11月 6日(金) ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)〔移乗支援〕

千葉会場 令和2年11月13日(金) 蘇我コミュニティセンター〔排泄支援〕

福岡会場 令和2年11月20日(金) 天神ビル〔見守り〕

対象

介護施設の施設長
介護事業所の所長
介護主任(リーダー)

介護機器の導入担当者
介護現場で介護機器を取り扱う職員
等

令和2年度 介護ロボット活用ミーティング

目次

【全会場共通】

- 介護ロボットの効果的な利用を考える P1
公益財団法人テクノエイド協会

【仙台会場】

1. 介護×IT機器の開発 P17
仙台フィンランド健康福祉センター 齋藤 賢吾 氏
2. コミュニケーションロボットで何ができるの P27
NECプラットフォームズ株式会社 川島 理俊 氏
3. 笑顔が増える介護の輪 P33
介護老人法権施設 ゆうゆうホーム 田原 智美 氏

【大阪会場】

1. 大東元気でまっせ体操 P49
大東市役所 保険医療部高齢介護室 逢坂 伸子 氏
2. ナノミストバスについて P57
株式会社EINS 木島 信一 氏
3. 安心・快適な入浴介助 P61
特別養護老人ホーム コティコート北大阪 森 皇人 氏

【名古屋会場】

1. 高齢・障害現場における介護ロボット技術の活用 P67
なごや福祉用具プラザ 富板 充 氏
2. 移乗の先にあるもの P77
アイ・ソネックス株式会社 西 貴央 氏
3. 長寿の里・十四山の取り組み P91
介護老人福祉施設 長寿の里・十四山 矢田 明 氏

【千葉会場】

1. 介護ロボットの普及に向けた取り組み P99
千葉市保健福祉局高齢障害部介護保険管理課 並木 貴司 氏

2. 排泄ケアシステム HeIPPad P109
パラマウントベッド株式会社 山口 悟史 氏

3. リフトを使用した排泄支援 P123
グッドタイムリビング千葉みなとノ駅前通 岡田 良祐 氏

【福岡会場】

1. 政令市初ロボットエキスパートの養成 P133
福岡市高齢社会政策課 倉員 知子 氏

2. 生活リズムを把握するクラウドシステム P137
株式会社リコー 長谷川 敏 氏

3. 見守り機器にインカムを併用して P149
特別養護老人ホーム聖ヨゼフの園 木戸 邦夫 氏

令和2年度
介護ロボット活用ミーティング

介護ロボットの効果的な利用を考える

各会場 13時00分～13時15分(15分)

公益財団法人テクノエイド協会 企画部

The Association for Technical Aids(ATA)

1

介護現場で働くみんなの情報交換会

介護ロボット活用 ミーティング

本音で語ろう！

参加費 無料

定員 30名
(先着順)

Illustration of people in a care facility setting.

開催目的

日本の高齢化は、世界に例を見ない速度で進行しており、介護人材の不足が大きな課題となっております。介護人材を確保する一方で、限られたマンパワーを有効に活用する解決策の一つとして、高齢者の自立支援を促進し、質の高い介護を実現するためのロボット・センサー等の活用が期待されます。

高齢者介護のニーズが多様化・複雑化するなか、福祉用具・介護ロボット（以下、「介護機器」）の利用は、今後益々進むことと予測されるところであり、適切な導入と利用を推進するためには、導入前の十分な情報収集をはじめ、導入による効果の確認についても介護施設にとって極めて重要といえます。

一方、現行では介護機器導入前後の情報について、施設間で情報共有する仕組みが十分に整っているとはいえず、一部の先駆的な介護施設の事例を聞く機会はあるものの、好事例や失敗例を率直に意見交換できる場がないという意見も寄せられております。

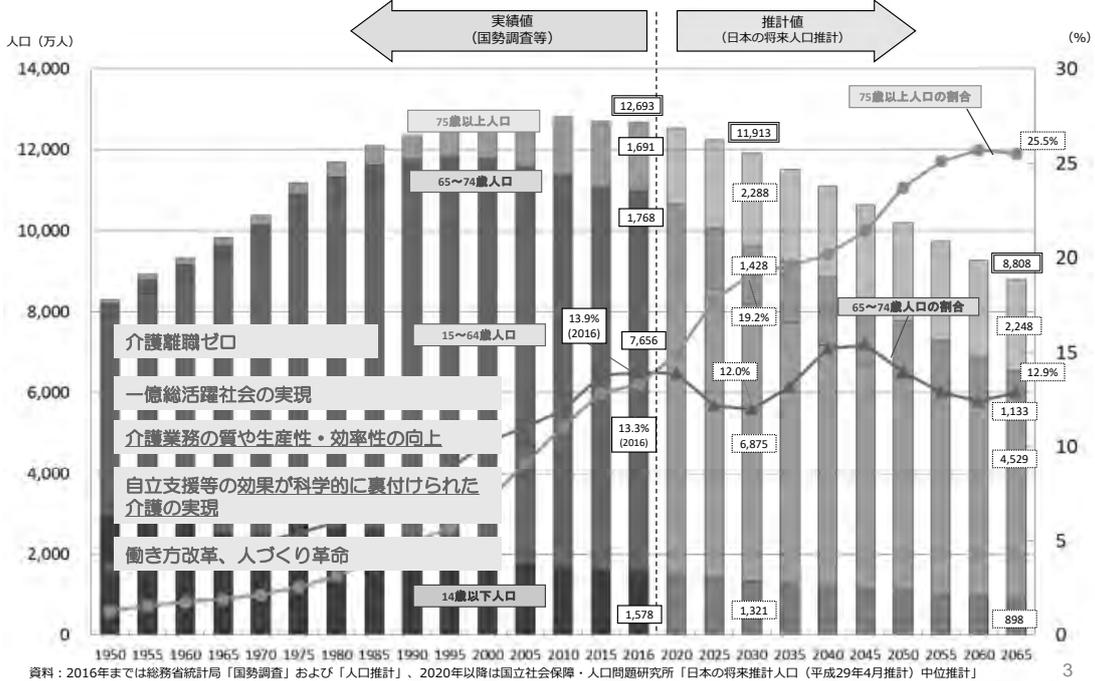
こうした背景を踏まえ、当協会では、介護施設・事業所（介護事業所等）を対象にした「介護ロボット活用ミーティング」を開催することとし、介護職員の介護機器の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境の構築を推進することといたします。

The Association for Technical Aids(ATA)

2

少子高齢化の進展、求められる対応策

○ 今後、日本の総人口が減少に転じていくなか、高齢者(特に75歳以上の高齢者)の占める割合は増加していく。



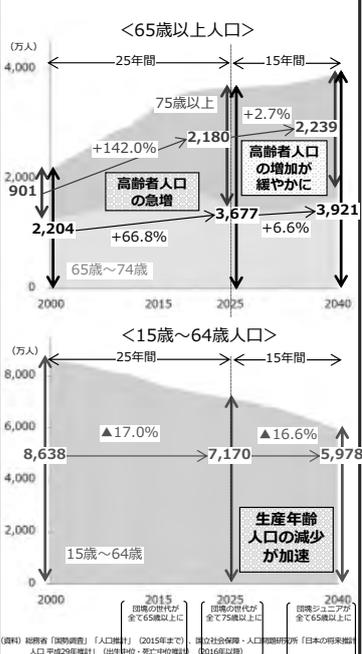
2040年頃を展望した社会保障改革の新たな局面と課題

平成30年4月12日経済財政諮問会議 厚生労働大臣提出資料

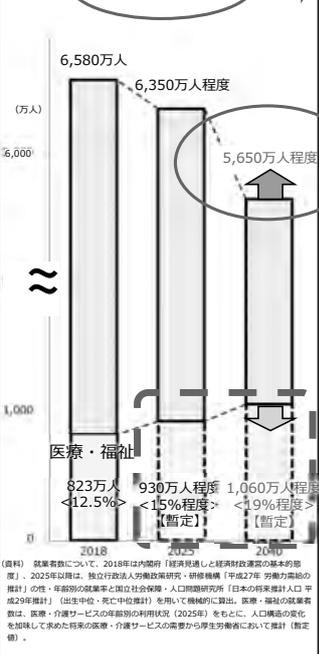
人口構造の推移を見ると、2025年以降、「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化。

2025年以降の現役世代の人口の急減という新たな局面における課題への対応が必要。

《2040年までの人口構造の変化》



《就業者数の推移》



国民的な議論の下、

- これまで進めてきた給付と負担の見直し等による社会保障の持続可能性の確保も図りつつ、
- 以下の新たな局面に対応した政策課題を踏まえて、総合的に改革を推進。

《新たな局面に対応した政策課題》

1. 現役世代の人口が急減する中での社会の活力維持向上
⇒ 高齢者をはじめとして多様な就労・社会参加を促進し、社会全体の活力を維持していく基盤として、2040年までに3年以上健康寿命を延伸することを目指す。

2. 労働力の制約が強まる中での医療・介護サービスの確保
⇒ テクノロジーの活用等により、2040年時点において必要とされるサービスが適切に確保される水準の医療・介護サービスの生産性の向上を目指す。

- ※ サービス産出に要するマンパワー投入量。
- ※ 医療分野：ICT、AI、ロボットの活用で業務代替が可能と考えられるものが5%程度（「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」結果から抽出）
- ※ 介護分野：特別養護老人ホームでは、平均では入所者2人に対し介護職員等が1人程度の配置となっているが、ICT等の活用により2.7人に対し1人程度の配置で運営を行っている施設あり。

2040年を展望し、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現

- 2040年を展望すると、**高齢者の人口の伸びは落ち着き、現役世代（担い手）が急減する。**
→「**総就業者数の増加**」とともに、「**より少ない人手でも回る医療・福祉の現場を実現**」することが必要。
- 今後、国民誰もが、より長く、元気に活躍できるよう、以下の取組を進める。
①**多様な就労・社会参加の環境整備**、②**健康寿命の延伸**、③**医療・福祉サービスの改革による生産性の向上**
④**給付と負担の見直し等による社会保障の持続可能性の確保**
- また、社会保障の枠内で考えるだけでなく、**農業、金融、住宅、健康な食事、創業にもウイングを拡げ、関連する政策領域との連携の中で新たな展開を図っていく。**

2040年を展望し、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指す。

「現役世代の人口の急減という新たな局面に対応した政策課題」

多様な就労・社会参加

【雇用・年金制度改革等】

- 70歳までの就業機会の確保
- 就職氷河期世代の方々の活躍の場を更に広げるための支援
- 中途採用の拡大、副業・兼業の促進
- 地域共生・地域への支え合い
- 人生100年時代に向けた年金制度改革

健康寿命の延伸

【健康寿命延伸プラン】

- (⇒2040年までに、健康寿命を男女ともに3年以上延伸し、75歳以上に)
- ①健康無関心層へのアプローチの強化、
 - ②地域・保険者間の格差の解消により、以下の3分野を中心に、取組を推進
 - ・次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成等
 - ・疾病予防・重症化予防
 - ・介護予防・フレイル対策、認知症予防

医療・福祉サービス改革

【医療・福祉サービス改革プラン】

- (⇒2040年時点で、単位時間当たりのサービス提供を5%（医師は7%）以上改善)
- 以下の4つのアプローチにより、取組を推進
 - ・ロボット・AI・ICT等の実用化推進
 - データヘルス改革
 - タスクシフティングを担う人材の育成、シニア人材の活用推進
 - ・組織マネジメント改革
 - ・経営の大規模化・協働化

「引き続き取り組む政策課題」

給付と負担の見直し等による社会保障の持続可能性の確保

5

○「成長戦略フォローアップ」(本文抜粋) (令和元年6月21日閣議決定)

II. 全世代型社会保障への改革

5. 次世代ヘルスケア

(2) 新たに講ずべき具体的施策

i) 技術革新等を活用した効果的・効率的な医療・福祉サービスの確保

② ICT、ロボット、AI等の医療・介護現場での技術活用の促進

ウ) ロボット・センサー等の開発・導入

- ・ 2040年を展望した中長期ビジョンである「未来イノベーションWG」の取りまとめを踏まえた医療福祉分野における取組を検討し、2019年度中に具体化する。ムーンショット型研究開発、先端技術の速やかな社会実装に向けた新たな評価モデルの開発、技術インテリジェンス機能の強化等、政府一丸でロボット・AI等の受け込んだ社会システムの実現を目指す。また、国民が自分の健康状態を自ら把握できる社会の実現に向け、機器やサービスに関して、評価手法の開発を推進する。
- ・ ロボット・センサー等の効果検証に関するルールを次期介護報酬改定までに整理する。事業者による継続的な効果検証とイノベーションの循環を促す環境を整備し、得られたエビデンスを次期及びそれ以降の介護報酬改定等での評価につなげる。
- ・ ロボット・センサーについて、重点分野に基づき、利用者を含め介護現場と開発者等をつなげる取組や、介護現場でのモニター調査等により、現場ニーズを捉えた開発支援を行うとともに、介護ロボットを活用した介護技術の開発や介護ロボットの普及啓発を行い、介護現場への導入・活用支援を着実に進める。あわせて、障害福祉分野についても同様の取組を進める。

③ 医療・介護現場の組織改革や経営の大規模化・協働化

ア) 書類削減、業務効率化、シニア層の活用

- ・ 人手不足の中で、介護現場のサービスの質の維持・向上を実現するための方向性を整理した「介護現場革新プラン」を踏まえ、2019年度、介護施設における①業務フローの分析・仕分け、②高齢者の介護助手等としての活躍推進、③ロボット・センサー、ICT等の活用等による、パイロット事業を実施し、介護現場の業務効率化モデルを構築する。また、2019年度以降、集めたノウハウを生産性向上に係るガイドラインに反映し、好事例の横展開を強力に進める。

6

高齢者及び障害者を取りまく現状

高齢者の現状

- 要介護高齢者の増加
- 認知症高齢者の増加
- 高齢者世帯や高齢者独居の増加
- A D L（日常生活動作）やQ O L（生活の質）の維持・向上 など

障害者の現状

- ニーズの多様化・複雑化
- 障害者の高齢化
- 活動や参加に対する理解・支援の拡充
- 機器の利用環境・インフラの整備 など

介護人材の現状

- 人材の不足（海外からの受け入れ）
- 職員の腰痛
- 楽しく・働きやすい職場環境の構築
- 福祉用具等の効果的な活用を促す教育の拡充 など

政府・関係機関等の取り組み

- 新規参入（技術やノウハウの活用、転用）の促進
- ロボット技術の活用
- I C T技術の活用、データの集約
- 政府主導によりイニシアティブ協議会の創設
 - 新たなイノベーションの創出、I o T、A I
 - ロボット利活用の推進・規制改革、
 - 取扱うことのできる人材の養成 など

ロボットとは

- 【定義】「センサー、駆動系、知能・制御系の3つの要素技術を有する、知能化した機械システム」
→ 自動車、家電、航空機、工作機械、産業機械、建機・・・
- ロボットは、工場における生産財として使用される「産業用ロボット」と、
- 医療・福祉やメンテナンス、生活支援、アミューズメント等、多様な用途への活用が期待される「サービスロボット」に大別される。

次世代ロボット

<p>産業用ロボット</p>  <p>溶接ロボット</p>  <p>電子部品実装用ロボット</p> <p>次世代産業用ロボット</p> 	<p>サービスロボット</p>  <p>業務清掃ロボット</p>  <p>食事支援ロボット</p>  <p>上肢支援ロボット</p>  <p>装着型ロボット</p>  <p>歩行支援ロボット</p>  <p>災害対応ロボット</p>  <p>移動支援ロボット</p>  <p>人間型ロボット</p>
--	--

(出典：経済産業省)

介護ロボットとは

1. ロボットの定義
 - 情報を感知（センサー系）
 - 判断し（知能・制御系）
 - 動作する（駆動系） この3つの要素技術を有する、知能化した機械システム。
2. ロボット技術が応用され利用者の自立支援や介護者の負担の軽減に役立つ介護機器を介護ロボットと呼んでいる。

介護ロボットの例

<p>移乗支援</p>  <p>離床アシストベッド</p>	<p>移乗支援</p>  <p>装着型パワーアシスト</p>	<p>排泄支援</p>  <p>自動排せつ処理装置</p>	<p>移動支援</p>  <p>歩行アシストカート</p>
--	---	--	--

どういった目的からロボット技術を活用するか

- ①移乗支援 ②移動支援 ③排泄支援 ④見守り支援 ⑤入浴支援 ⑥機能訓練支援
 ⑦服薬支援 ⑧認知症セラピー支援 ⑨食事支援 ⑩口腔ケア支援
 ⑪介護業務支援（掃除・洗濯・調理・記録等） ⑫その他

国際生活機能分類 (ICF)

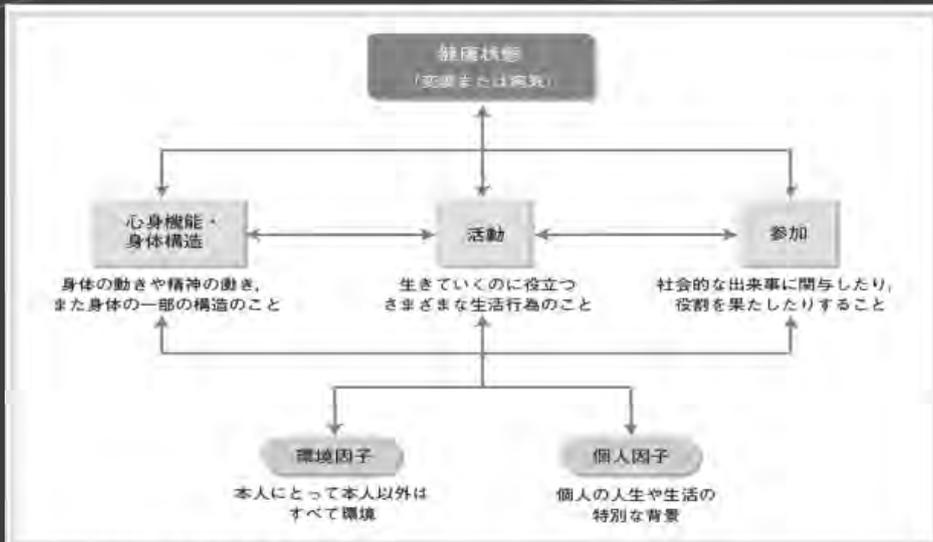


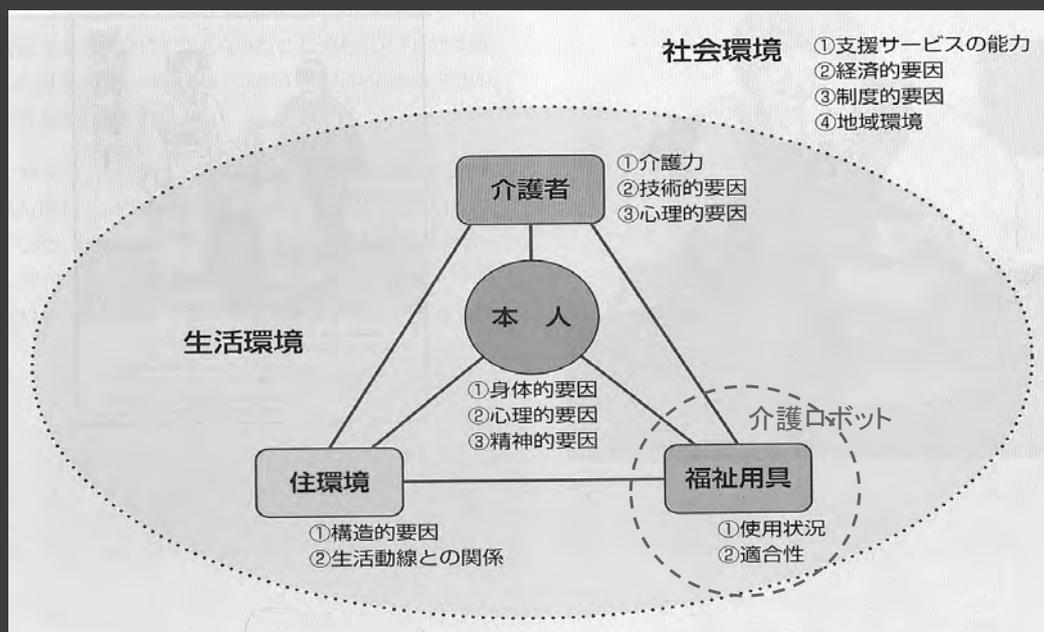
図 8-1 ICFの構成要素間の相互作用

(障害者福祉研究会編「国際生活機能分類 (ICF) - 国際障害分類改定版 -, 中央法規出版, 2002, p.17を基に著者が加筆)

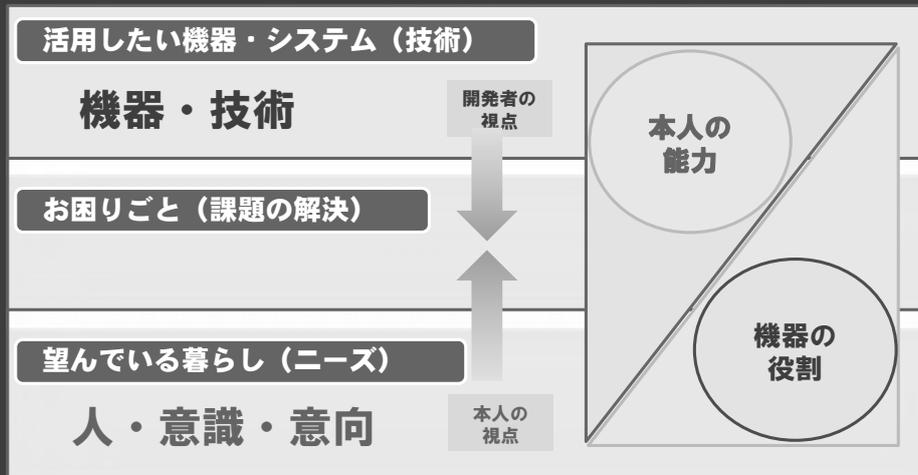
1. 利用目的の明確化

2. 障害者と高齢者の意識の相違

利用者を中心にした関係性



介護ロボット等利用にあたっての基本的考え方



福祉用具・介護ロボットは、利用が目的ではなく、目的を達成する一手段

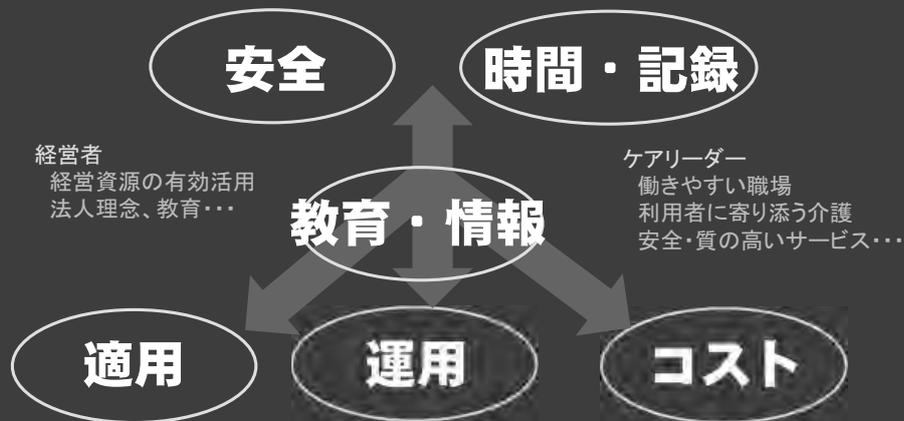
- ・ 人生の継続
- ・ 自己決定の尊重
- ・ 残存能力の維持・拡大 等

一方、意識化・目的化

考慮しながら、利活用を検討

利活用にあたってのポイント

介護現場の現状



経営者
経営資源の有効活用
法人理念、教育...

ケアリーダー
働きやすい職場
利用者に寄り添う介護
安全・質の高いサービス...

尊厳の保持、プライバシーの保護
介護支援計画への位置づけ、使用範囲やルールの明確化
安全性の確保、個別ケアの実現や業務の効率化

介護ロボットの効果的な導入の可否判断

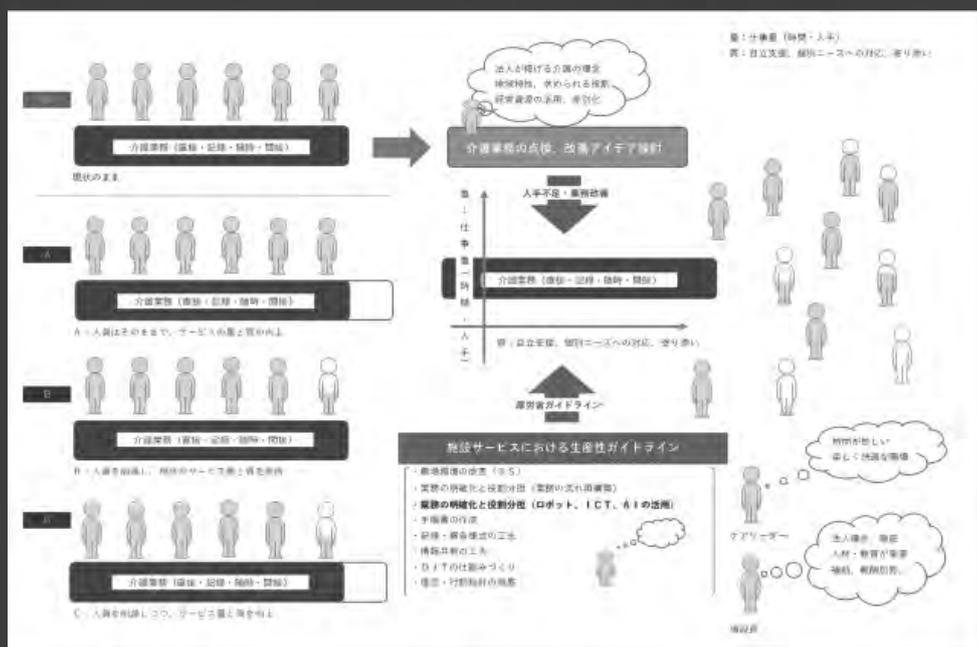
立場による異なる視点・観点

- ①行政：福祉サービスの持続性、利用の目的化(補助や加算、基準化等)
- ②メーカー等：事業の拡大・成長、収益化
- ③施設等：質の高いサービス、経営資源の有効活用

導入の可否判断

- ◎利用者に与えるインパクト：メリット、デメリット、自主性、ADL、QOL ……
- ◎組織(スタッフを含む)に与えるインパクト：やりがい、意識、肉体的・精神的な負担軽減、雇用・労働環境の改善 ……
- ◎機器の使いやすさ：使いやすさ、信頼性、確実性、サポート・メンテ ……
- ◎コスト&ベンフィット：本体価格、設置費、運用費、教育費 ……

介護現場の生産性の向上をどう図るか



効果的に利用するための検討フロー

～ 課題の明確化等から導入の考える ～

課題の解決やアイデアの抽出、
安心・安全な介護の実現

1. 課題やアイデアの抽出、利用可能な機器の検討
→ 機能や性能など
2. 類似機器との相違、想定する利用者、経済性、仮説を立案
→ 現在のサービスに適用可能か否か
3. 可能であれば試用、少人数による仮説検証
→ どのような効果で期待されるか、現場の関係者全員で検討
4. 多数による検証（効果の実証）
→ 実践の中に位置付け、振り返りを行う
5. 予算、導入決定者と交渉

ご静聴、ありがとうございました

公益財団法人テクノエイド協会 企画部
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
セントラルプラザ4階

電話 03-3266-6883
電子メールアドレス robocare@techno-aids.or.jp

介護ロボット活用ミーティング

セッション2 (14:10-15:10)

思いをぶつけよう

グループワーク(1グループ6名 全5グループ)

- 自己紹介(1人2分程度) 14:15-14:30
 - 組織、役職、法人が掲げる理念、地域の特性
- 現状と課題 14:30-14:47
 - 個人ワーク(4分) …… 現状の整理
 - グループワーク(13分) …… 対話(認識の共有)
- アイデアや改善策 14:47-15:04
 - 個人ワーク(4分) …… 現状の整理
 - グループワーク(13分) …… 対話(認識の共有)
- 報告事項の整理、グループ報告者の決定 15:04-15:10

セッション3 (15:10-16:00)

みんなの考えを聞こう

グループワーク報告、意見・情報交換

- グループワーク報告・討議 15:10-15:55
 - グループ報告(6分)
 - 質疑応答、意見・情報交換(3分)
参加者や講師、アドバイザー
(9分×5グループ=45分)
- まとめ、閉会挨拶 15:55-16:00
 - テクノエイド協会(5分)

介護ロボット活用ミーティング セッション2及び3 メモ

1.参加概要

テーマ: ・コミュニケーション ・入浴支援 ・移乗支援 ・排泄支援 ・見守り	会場: ・仙台会場 ・大阪会場 ・名古屋会場 ・千葉会場 ・福岡会場	開催日: 令和2年 月 日 ()	メンバー: ・ ・ ・ ・ ・
--	--	-----------------------------	---------------------------------------

2.セッション2 (14:10～15:10)

	現状と課題	アイデアや改善策	備考
1. 適用	①利用者 (要介護者)		
	②介護者		
2. 運用	①介護体制		
	②使用環境		

現状と課題		アイデアや改善策	備考
③効果の見極め			
④機能、使い勝手			
①本体価格			
②搬入・設置費			
③運用費			
④教育費			
①			
3. コスト			
4. その他			
①			

3.セッション3 (15:10～16:00)

項目	グループ報告	意見・情報交換

【大阪会場】

令和2年10月30日（金）

エル・おおさか（大阪府立労働センター）

地域自治体の取組み／大東元気でまっせ体操

大東市保健医療部高齢介護室
逢坂伸子（理学療法士）

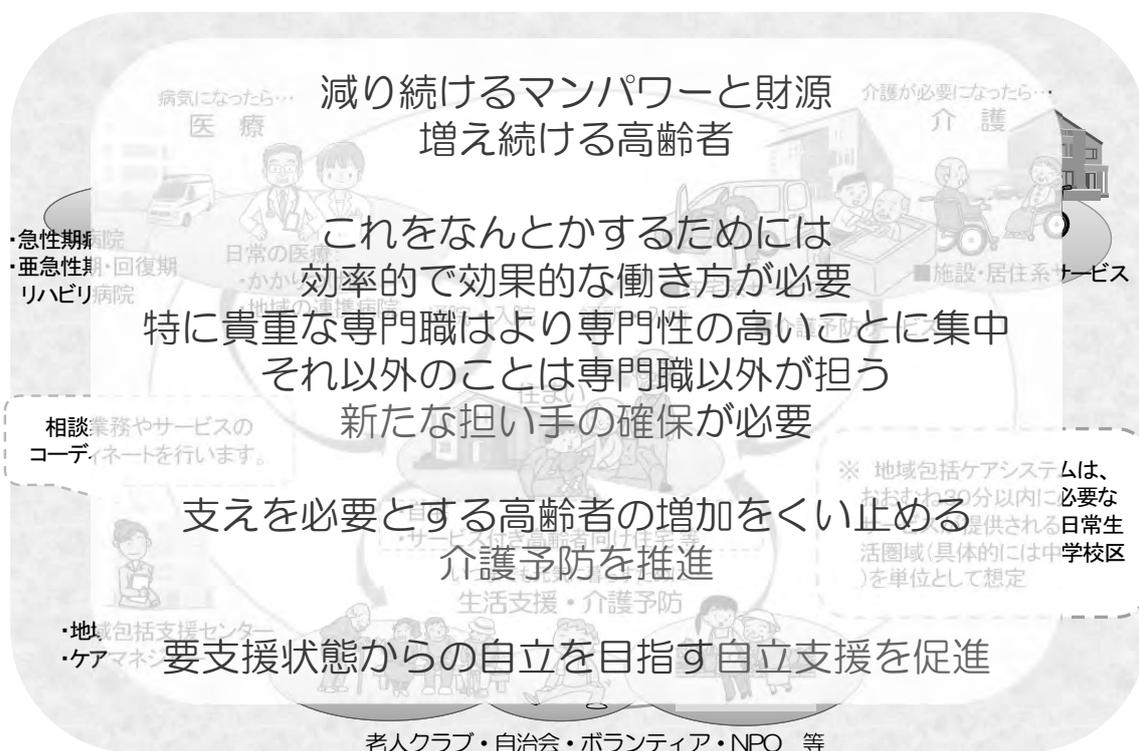


大東市



- 令和2年3月末現在
- 人口 120,138人
- 高齢化率 27.11% (32,578人)
- 市の面積 18.27平方km
1/3が山間部

地域包括ケアシステムの姿



大東元気でまっせ体操
効きまっせ 若うなりまっせ
寝たきりならんで儲かりまっせ

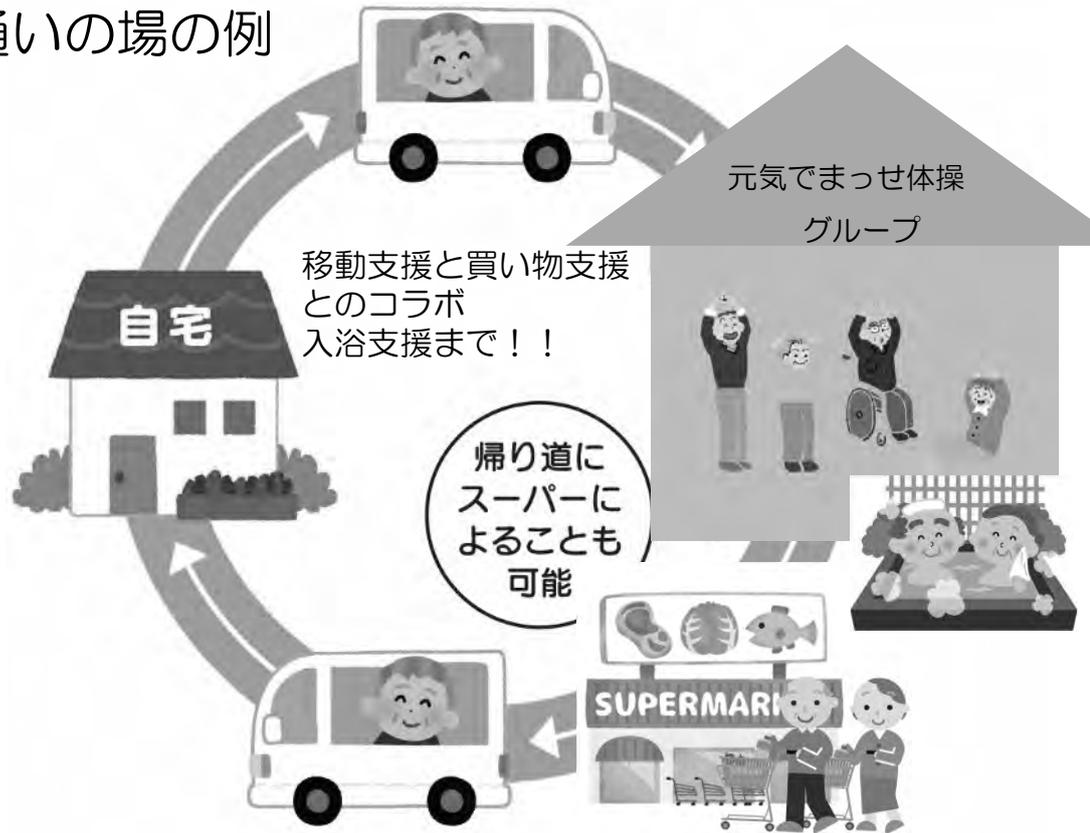
住民主体の通いの場
平成17年度スタート



市内125団体、2,400名が参加
(令和元年度末実績)

- 要支援レベルの高齢者でも歩いていける範囲に通いの場があるから、デイサービスに行かなくても大丈夫な人がたくさんいる
- 介護サービスから自立となった人が閉じこもらず元気でいられる場
- 通所サービスと併用により閉じこもる日を減らす
- 会場は自治会館、民家、空き店舗、空き家、病院や鍼灸院の空きスペース、フィットネスクラブのロビー、信用金庫、生命保険会社のセミナールーム、有料老人ホーム、サービス時間外のデイサービスなど

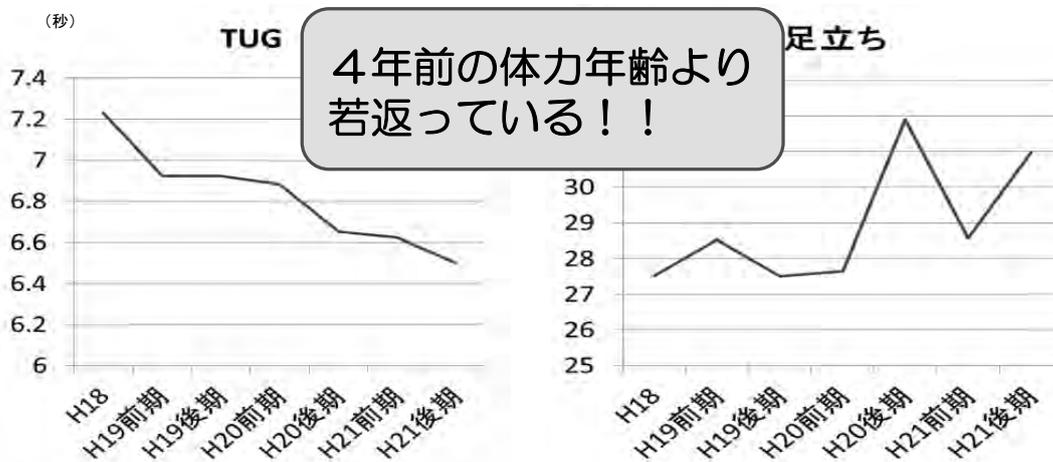
通いの場の例



4年間の体力測定の変化

(体力測定6項目のうちt検定で有意水準 ≤ 0.01 であった2項目)

n=45

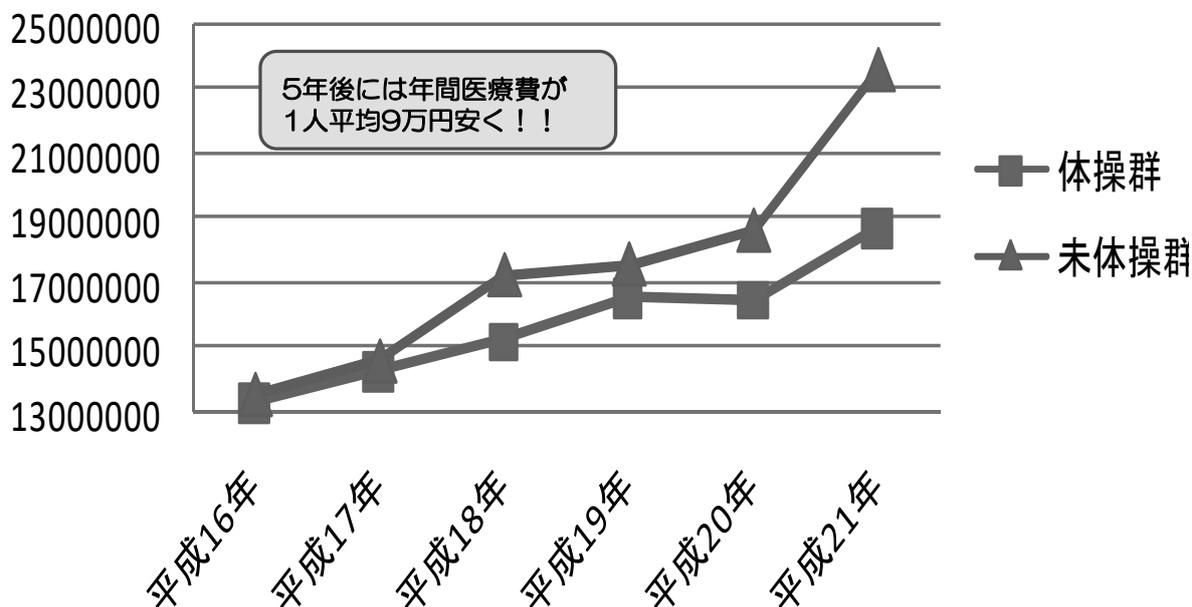


t 検定により有意水準 ≤ 0.01

t 検定により有意水準 ≤ 0.01

前期高齢レセ合計(n=108)

体操継続者と同地区、同年代、同性の者を10人ランダムピックアップし、その中から平成16年度(体操実施前年度)の年間医療費が一番近い者を対象とし、年度ごとの医療費の比較を行った



住民主体の通いの場では、
こんないいことが起こっています

1. 多くの虚弱高齢者が元気になります。
2. それも、その活動はずっと継続することができます。
3. 週1回の体操に集まるだけの活動から様々な活動に広がっていきます。
4. ご近所同士が仲良くなります。
5. 住民の見守りの目が育ちます。
6. 地域の支えあいが生まれます。

元気高齢者と虚弱高齢者が一緒に参加しているから起こること
デイサービスでは起こらない

行政・包括は年3～4回のステップアップ講座でよい動きをしている地域の活動を他に地域にも広げるコーディネイト役

生活サポート事業

住民主体の生活支援
平成26年度スタート

家事援助

介護保険で認められているサービス



生活支援

窓ふき、大型ゴミ、
庭の手入れなど



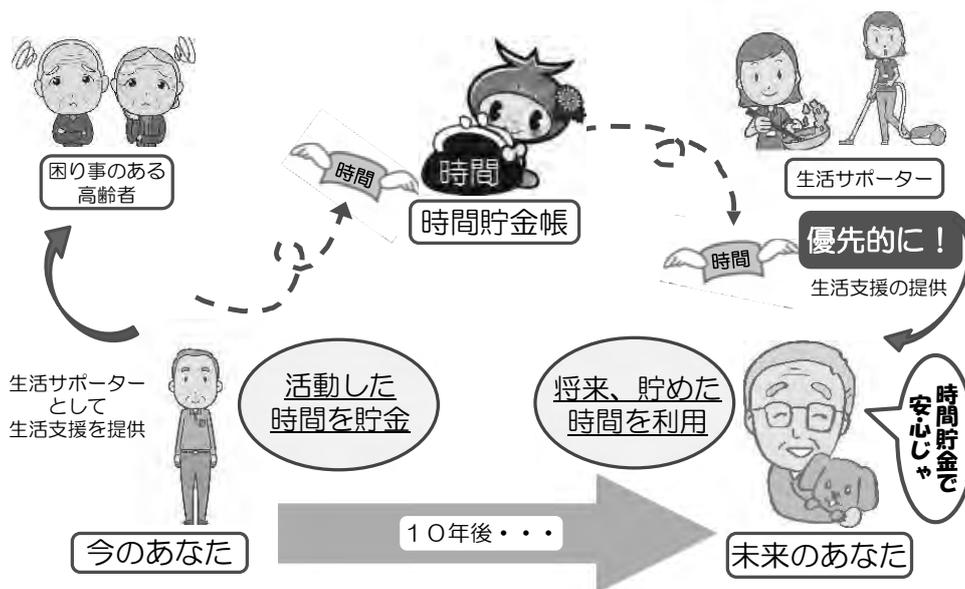
利用料30分以内250円

○謝礼金

○時間貯金

令和2年8月現在 生活サポーターの登録は755人（内、男性321人）
利用者129人（要支援レベルが殆ど、自立や介護5の方も利用中）

時間貯金 ～今、動ける時間を将来のために貯金～



大東市の総合事業で生み出された財源と人材

総合事業移行4年間の削減額は約12億円！！

(平成27年度までの3年間の平均伸び率からの推計値と実績との差額)

令和元年度は4.2億円超削減

要支援1，2につぎ込まれていた

介護職は重度者へシフト！！

介護職の確保のための次のステップ

お掃除ロボットの導入で介護人材の余剰を生み出す

支援者への貸し出し+利用者にはデモ機試用後に事業者と自由契約ヘルパーや生活サポーターがお掃除ロボットを持ち歩き、ロボットに床掃除をしてもらっている間に介護人材が浴室、トイレ掃除、買い物支援、身体介助を行う。

課題：お掃除ロボットが使えない家の環境

それこそが転倒リスクが高い環境であり、お掃除ロボットの導入は転倒リスクのスクリーニングになる！！

課題：お掃除ロボットのメンテナンス

利用者ではなく、支援者に貸し出すため、メンテナンスの課題を解消
複数の利用者に使うことができるため、費用対効果が格段にアップ

ご清聴いただき
ありがとうございました。

ナノミストバスについて



ナノミストバスの特徴

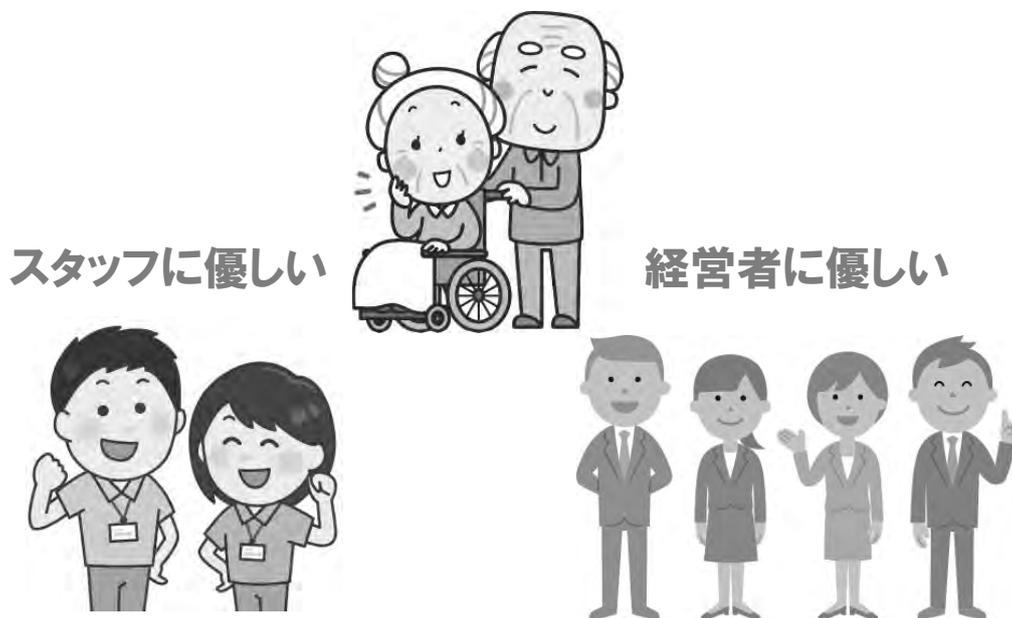
石鹸が要らない

湯船に浸からない

給排水設備が要らない

ひとり350mlのお水で入浴可能

3者に優しい 利用者に優しい



自動制御

5種類 7つのセンサーが

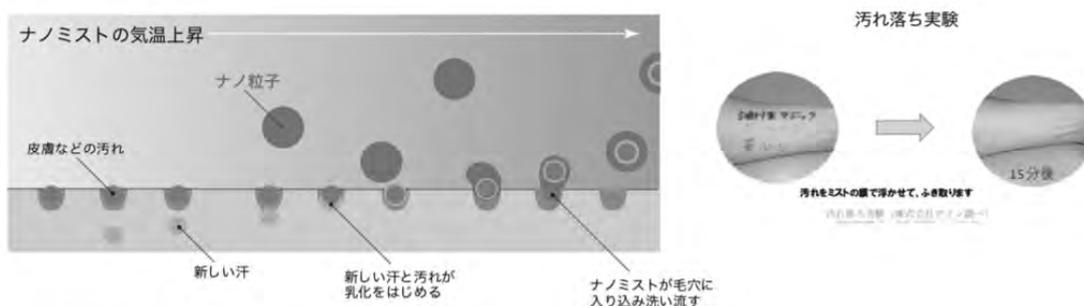
17項目を自動制御



常に安心安全で快適な状態を維持

石鹼を使わなくてもキレイになる

- ①自分の汗で汚れを落とす
- ②余分な石鹼成分を肌につけない
- ③毛穴や皮膚の隙間の汚れを落とす



湯船に浸からなくても温まる

- ①身体の中中部でも温まる
- ②ミストの温かさでWで温まる
- ③低温で短時間で持続的な温まり



入浴介助による腰痛の防止

- ①腰痛の原因の60%は入浴介助
- ②ナノミストバス は移乗を減らせられる
- ③職場定着支援金の対象製品



介護ロボットとして

＜あと一歩前に進もう＞

- ・入浴が変われば介護が変わる
- ・入浴介助はスタッフの忍耐と努力で支えられている
- ・近い将来必ず必要になります





社会福祉法人 育福会
特別養護老人ホーム
コティコート北大阪

森 皇人

コティコート北大阪は7階建てです

1階はケアステーション・スタッフルーム・ホール・会議室・厨房・医務室・相談室などが配置されています。

2階から7階は各階に2ユニットがあり、各ユニットには居室が10室、リビングスペース、お風呂等が配置されています。

また、**3階、7階**には、ご家族様も利用できる多目的室。

4階には車椅子対応の特別浴槽、**6階**には寝たまま入浴できるリフト対応の特別浴槽があります。

5階には、美容室があります。**2階**には洗濯室があります。

各階には、サービスステーションがあり、看護師が常勤しています。

導入機器

メーカー：積水ホームテクノ
株式会社

製品名：WELLSリフトキャリア
WLC-Z-100

設置場所：コティコート北大阪
5階浴室



専用移乗台(レール収納時)



自立入浴

レールを収納することで、移乗台としてご利用いただけます。



レールを取り出す



介助入浴

レールを取り出すだけで、リフトキャリアをご利用いただけます。

ご利用者さまに合わせて、
スイッチ一つで座面の高さを調節



跳ね上げ式アームサポートで
移乗しやすく、横倒れを防止



跨ぎサポートに足を乗せることで
浴槽跨ぎの介助負担を軽減



導入理由

導入前

- 機械浴室が4階と6階にしかなく、移動が大変
- 一般的な個浴で、ゆっくりと入浴がしたい
- 職員が入居者様を移乗することが大変
- 各ユニットで出来る限り、入浴支援をしたい。



導入後



現場の声





各職種が日々、その職種ならではの力を発揮すると共に、「コティコート北大阪」の職員の一員として、互いに協力しあい、入居者様により良いサービスを提供しています

10/19/2020

7